『　kokoro　』工賃向上計画

初回作成日：令和6年4月22日

見直し日：令和8年5月13日

Ⅰ　事業所の概要					
事　業　所　名	kokoro				
事業所種別	就労継続支援B型			定員	20
管　理　者	桑名大輔		担　当　者	桑名大輔	
開　設　年　月	平成21年12月01日	新体系移行年月日		2024/04/01	
所　在　地　等	（〒　300　－　1222　） 住　所　茨城県牛久市南4丁目22番地25 電　話　029-873-4232 e-mail　mail@soso-company.com URL　https://soso-company.com				
設　置　主　体	株式会社 創想				
運　営　主　体	株式会社 創想				
開設目的（理念）	利用者が日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。				
運　営　方　針	利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。また知識との結びつきを重視し、市町村、他の障害福祉サービス事業者、保健医療サービスを提供する事業者との連携を強める。				
利用者の障害程度 （手帳の保有状況） （令和7年4月1日現在）	身　障	1級：　1　名	2級：　0　名	3級：　1　名	4級～：　0　名
	知　的	○A：　0　名	A：　0　名	B：　2　名	C：　2　名
	精　神	1級：　2　名	2級：　13　名	3級：　0　名	
	その他	3　名　（診断書等による者）			
利用者の男女の別	男性　8 名　（平均年齢　46 歳 ）/ 女性　18 名　（平均年齢　49.7 歳 ）				
工賃向上計画 対象以外の実施事業	共同生活援助、放課後等デイサービス、児童発達支援、相談支援				
工賃の決定･支払方法	作業毎時給と月給を合算して決定。 月初日から末日までの作業に係る工賃を、次月25日に支払う。				

Ⅱ　作業の内容		
№	作　業　名	内容（簡潔に説明）
①	ベーグルの製造販売	ベーグル、焼き菓子等の製造及び販売。
②	パッケージング作業請負	オンラインショップ販売用商品のパッケージング作業
③	軽作業	落花生殻剥き、商品梱包、金具の組み立て等
④	施設外就労	発泡スチロール箱の洗浄、除草作業等
⑤		

Ⅲ　目標工賃の設定

目標見直しの理由

令和7年度は目標工賃額を達成できなかったため、改めて計画を見直すこととした。

項　　目		令和5年度 実績額 （現状）	令和6年度 **実績額**	令和7年度 実績額	令和8年度 目標額
見直し前の 目標工賃	月額			26,087	35,714
	時給（任意）				
A 目標工賃(円) **※見直し後**	月額 (E/H/I)		25,335	22,164	24,854
	時給（任意）				
B 生産活動年間収入(円)			11,813,217	9,075,621	10,000,000
C 生産活動に係る年間経費（工賃除く）(円)			8,772,061	4,709,328	5,600,000
D 工賃支払**前**収支(円) (B-C)			3,041,156	4,366,293	4,400,000
E 年間工賃支払総額(円)			3,253,025	3,085,255	3,400,000
F 年間日延べ利用人数			2,814	2,981	2,950
G 年間開所日数			264	257	260
H 1日当たり平均利用者数(F/G)			10.7	11.6	11.4
I 年間開所月数			12	12	12

※目標工賃は、必ず月額を記載してください。

※各年度の目標工賃額は、前年度以上の額としてください。

Ⅳ　目標達成に向けた取組

（1） 事業所全体

① 工賃向上を可能とする基本的前提

令和7年度には機材故障のため、売上が立たない月があった。ベーグルの製造販売による売上は伸ばす余地はある。
パッケージング作業は請負作業のため、自力での売上向上は見込めない。
施設外就労は参加者も多く、日数を増やすことで売上を伸ばすことが見込める。
令和7年度に商品の梱包請負作業を受注し、着実に数量を伸ばしている。

② 取組の基本方針と具体的方策

基本方針	ベーグルの売上向上と原価率の低下。 施設外就労を増やす。 施設内作業（軽作業）については維持。 梱包作業の受注量の増加。
具体的な 取組方針	ベーグル製造販売：値上げ、新商品開発、販路拡大 施設外就労：参加利用者が増えるように支援。 梱包作業：受注量を増やすことと、倉庫に出向いて作業することの検討。

③ ②の基本方針に関する現状と課題

経営的 視　点	ベーグル製造販売：OEM受注で製造量が増加。令和8年1月に値上げ実施したが、さらなる資材等の値上げが見込まれる。 施設外就労：利用者動向や設備上、施設外就労に行くことができる日が限られていたが、日数や参加者を増やすことができるように柔軟に検討していく。
福祉的 視　点	ベーグルの製造販売：設備上、関わることのできる利用者には限度があるが、時間等は柔軟に対応。立ち仕事であり作業内容が比較的難しいので、実際に携わるにはハードルがある。 軽作業は単価が低いが、障害によりできる作業が限られている利用者もおり、作業をなくすことが難しい。 施設外就労は、屋内であり、作業内容も誰でもできるものであるが、作業所を離れるということにハードルがある方がいる。

⑤ 現段階で考えられる改善の方策と、行政・福祉団体・企業・住民等との連携

地元農業者や事業者と連携し、新商品の開発やOEMのさらなる受託の可能性がある。
知人やすでに取引のある事業者を通して、施設外就労の新規開拓をおこなっていく。
梱包作業を増やすことを念頭に、他の低単価作業の減少も検討。また、同様の仕事を行っている事業者の開拓により、受注数を増やすことができる可能性がある。

（2） 作業別の取組方針 ― ①

作業名①	ベーグルの製造販売
取組方針	強化、継続
理　由	自主事業であり、取り組み次第で売上の向上が見込める。 【経営環境分析】 内部環境（強み・弱み）、外部環境（機会・脅威）を整理 〔強み〕 作業に携わる利用者が増えてきている 経営状況は比較的安定。地元産原材料にこだわりリピーターも多い。 〔弱み〕 商品に使うことができる原材料が限られているので、新商品を多く出すことは難しい 〔機会〕 ネット販売チャネルを増やしている。まだ増やす余地もある。 イベント開催も戻ってきており、出店も視野に入れることが可能。 〔脅威〕 さらなる値上げによる、顧客離れ。
目　標	オンラインの販売先を増やしていく。それに伴って、製造数を増やしていく。また、ロスがでても大丈夫な環境を作り、店舗にお客様を呼び込む工夫をしていく。
具体的な 目標達成策	①収入面について（商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等） オンライン販路の拡大、新商品の検討、商品化 店舗集客のための試みを行う。ギフト対応も ②支出面について（仕入れ、業務改善、コスト低減等） 値上げに踏み切り、原価率を下げていく。 ③その他 様々なプラットフォームを試していくことにより、売上拡大につながるものを見つけていく。

（2） 作業別の取組方針 ― ②

作業名②	パッケージング作業請負
取組方針	現状維持
理　由	請負作業であり、自力で受注数をコントロールをすることが出来ない。 現状でロスが多く出ており、余分な作業時間がかかっている。 作業工程を見直しすことにより、利益率を上げていくことを目標とする。 【経営環境分析】 内部環境（強み・弱み）、外部環境（機会・脅威）を整理 〔強み〕 単価が軽作業よりも高い。 天候に左右されない。 〔弱み〕 自力で受注量を増やすことが難しい。 関わる人員を増やしたことによりロスが増えた。 〔機会〕 当社の関連会社からの受注であるため、施設への理解がある。 受注数は比較的安定している。 〔脅威〕 受注量の極端な増加には対応が難しい。
目　標	ロス管理を行うこと。 その結果、ロスが多い工程に関しては、作業工程の見直しを行い、ロスを減少させる 。
具体的な 目標達成策	①収入面について（商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等） 作業分析や、作業用品の見直しを随時行い、作業効率と生産性の向上を目指す。 ②支出面について（仕入れ、業務改善、コスト低減等） 毎月末の棚卸の徹底と無駄のない仕入れ 作業に使用する物品の扱いの管理指導、消耗品等のロス削減 ③その他 品質管理と納期厳守を徹底し、発注元との連絡を密に行うことで、お互いに意見しや すい環境を築く。

（2） 作業別の取組方針 ― ③

作業名③	軽作業
取組方針	一部拡大
理　由	新たに始めた商品の梱包作業は、請負作業ではあるが、数量増の見込み。この作業の量を増やし、売上拡大を目指す。 【経営環境分析】 内部環境（強み・弱み）、外部環境（機会・脅威）を整理 〔強み〕 作業量が多い会社から請け負うことが出来ている。納期も厳しくない。 誰でもできる簡単な作業である。 〔弱み〕 単価が低い。梱包作業は、ものによって単価が良い。 部材が重すぎる。場所をとる。 〔機会〕 横のつながりからさらに受注できることがある。 〔脅威〕 原材料が海外からの輸入のものも多く、作業量の安定に欠ける 利用者の入れ替わりにより、作業速度の上下が大きいので、必ずしも増やせるわけではない。
目　標	作業数量が増えても対応できるよう、梱包以外の作業りょうを　柔軟に調整していく。 高品質での作業を継続し、請負先との関係性を構築することで、単価交渉・単価アップを図っていく。
具体的な 目標達成策	①収入面について（商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等） ミスをなくし、品質が高い状態を維持し、継続して作業を受注できるようにする。 ②支出面について（仕入れ、業務改善、コスト低減等） 作業工程の分析を随時取り入れていく。 ③その他

（2） 作業別の取組方針 － ④

作業名④	施設外就労
取組方針	強化
理　由	作業日数を増やす。参加利用者を増やす。 【経営環境分析】 内部環境（強み・弱み）、外部環境（機会・脅威）を整理 〔強み〕 施設外就労のために通所する利用者もいる。 〔弱み〕 送迎等の都合や、就労先の営業時間の兼ね合いで、作業時間を伸ばすことが困難 〔機会〕 比較的簡単な作業であるが、比較的高い時給で請け負うことができている。 支出がほとんどない。屋内作業であり天候に左右されない。 〔脅威〕 作業人数が就労先の都合で上限が設けられている。
目　標	新規就労先を見つけて、施設外就労を行う日数も増やしていく。 工賃規定の見直しにより、施設外就労の時給を引き上げる。
具体的な 目標達成策	①収入面について（商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等） 時給×作業時間×人数であるが、始めたばかりで時給の交渉は早い。1日の時間数 は現状で頭打ちなので、日数を増やしていくことを検討していく。 ②支出面について（仕入れ、業務改善、コスト低減等） 支出はガソリン代のみだが送迎しながら現場へ向かうため、できるだけ送迎の場所 は減らしていくことが望ましい。 ③その他 現行の工賃規定では、施設外就労の作業別時給と実際の請負金額に乖離がある。 全体の収支も見ながらにはなるが、作業別時給の引き上げを行っていく。

Ⅴ　取組の年次計画

令和6年度

令和7年度

工賃規定の見直し：作業別時給の引き上げ、または、ボーナス支給

ベーグル製造販売：新商品の販売等により、受注数増

ベーグル販売と施設外就労を中心とた作業の組み立て

年度末までに施設外就労を週5日行うことができるように。

令和8年度

工賃規定について、現在検討・確認中。
施設外就労について、参加利用者を増やすことが優先。
新商品をオンラインやふるさと納税でも購入可能な状態にし、ギフトも充実させ、売上拡大。